



国労せんだい

No. 2623
2012年3月21日
発行責任者 大沼 元
編集責任者 武田 昌仙

3 3 3 3
16 11 10 9
国労東北総決起集会
国労仙台総行動
原発いらない！3・11福島県民大集会
地本執行委員会・闘争委員会
会館運委員会・高橋昇三さんを送る会

3 3 3 3
24 21 21 20
秋田・仙台地本不当配転者激励交流会
団交（申20号 駅業務委託関係）
西日本運協震災視察・交流会
団交（申21号 総合車両センター業務改善）
団交（申21号 総合車両センター業務改善）

「原発いらない」福島で宣言！

郡山開成山球場 全国から一万六千人が集結

3月11日、福島県郡山市内の開成山野球場において、「原発いらない！3・11福島県民大集会」が開催された。この集会は東日本大震災・福島原発事故一周年として、同集会は県内の農林漁業団体、生協、女性、平和団体など様々な組織の代表が呼びかけた実行委員会が主催したもので、福島県はもとより全国から一万六千人が参加した。

加藤登紀子さんに総立ちで拍手

13時。集会に先立ち、特別参加した歌手の加藤登紀子さんが、被災地への思いを込めた歌6曲を熱唱。参加者全員が総立ちとなって会場が一体となった。そして集会実行委員長の竹中柳一さん（福島県平和フォーラム代表）が開会を宣言。

「原発いらない」の声 拡大は私たちの使命

呼びかけ人代表の清水修二さん（福島大学副学長）は、「50基を超える原発が地震国日本で稼働していることに本当に憤りを覚える」「原発いらない！の声を全国の心ある人々に届けるのは、福島県民の使命・義務である」と訴えた。

「原発を撤廃した」を実現させよう！

続いて呼びかけ人の一人である、作家の大江健三郎さんは、「原発事故を絶対になくすることは出来るのか？」



地本参加者は連日のデモの疲れも見せず元気に行進

可能だ。それは原発をなくすことだ」「私は作家であり、想像力が豊か。こんな想像をしてみた。近い日のある朝、全国の小中高学校の朝礼で校長が、『この国は原発を撤廃することを昨日決めました。もう事故の心配はありません』と伝え



「原発いらない」人々が会場を埋め尽くした

た想像をした。実現させよう」と連帯のあいさつを述べた。さらに、福島県民の訴えとして、農業、漁業、高校

生、主婦、避難生活者など6人が登壇。それぞれの立場から悲痛な訴えを行なった。そして14時46分。震災の犠牲になった人々を追悼し、参加者全員で黙祷を行なった。同時に、黙祷を捧げていたスタンドの外からも、サイレンや鐘の音が風にのって聞こえてきた。

集会宣言は、呼びかけ人の小淵真理さん（アウシュヴィッツ平和博物館館長）が「原発はいらない！私たちは全国民に向け宣言します」と提案し、満場の拍手で採択がされた。集会後は殆どの参加者がそのままデモ行進に参加。2コースに別れて会場周辺を行進しながら、「原発いらない」「エネルギー政策の転換」などそれぞれの主張やスローガンを広く市民にアピールした。

貨物がベア・ゼロ回答

地本が指示 緊急抗議行動

国労本部は、3月16日JR貨物から国労本部申第11号「12年度新賃金要求」に基づく回答をうけた。内容は「ベア・ゼロ」「定期昇給のみ実施」「55歳以上の社員の賃金改善措置として1400円を加算する」「割増賃金の改訂として1時間当たり単価のうち、B単価を（125/100）から（126/100）に改める」というものであり、国労本部は不満を示し、持ち帰り検討とした。

また、地方本部は、「貨物会社2012年度新賃金ベアゼロ回答に抗議する緊急集会の開催等について」（仙地指示第32号 3月19日）を指示した。

開催日時
12年3月21日（水）

①宮城県側集会
18・30
宮城県支部・仙地支部

②福島県側集会
18・00
福島県支部・郡工支部

悪天候を吹き飛ばせ

春闘をアピール

国労東北協議会と仙台地本は12年春闘勝利に向けた取組みの一環として、仙台市内において大衆行動を展開。3月9日には国労東北総決起集会（国労せんだい速報版2621号参照）、翌10日には国労仙台総行動を開催した。

当日は朝から雪が降り、その後雨となる生憎の悪天候であったが、各地から253人の組合員が結集した。参加した組合員を前に大沼委員長は、12春闘情勢を述べた後、「昨年は震災もあり思うような取組みが出来なかったが、今年はしっかりと要求を集約し、職場の声を反映させよう。それ取組むことが全体の底上げ

250人が結集

10日の総行動は仙台市錦町公園で13時30分から開催。

つながる」「労働運動が停滞しているが、少しでも市民にアピールし、運動と連帯の輪を広げよう」と訴えた。

集会には来賓として、社民党宮城県連合菅野哲雄代表、国労議員団石川建治仙台市議、鉄道退職者の会国井重会長に駆けつけて頂き、連帯と激励のあいさつを受けた。

また、国労東日本本部松井正義書記長からは、春闘情勢と東日本会社の動向が述べられた。

続 青年部報告

地本組対策会議から～

西日本青年部 清水書記長報告



清水書記長

・西日本の青年部活動。大まかに、春闘行動・入社式宣伝行動・平和の集いが柱。・調査活動として、青年の要求と組合加入に関するアンケートを実施。青年の要求は職場の課題がほとんど。

この要求実現に向け青年部交渉も視野にいれ奮闘している。また組合加入の動機や必要性を問う設問も設けてあり、交渉に活かしたい。

・学習の必要性～就業規則と賃金の学習会を継続している。年2回程度だが、他労組の青年も交えて楽しく学習。

・西日本では、社員と契約社員の待

反原発で闘う

続いて、被災者の現状報告として、東北自動車支部大倉満前委員長より報告を受けた。

集会集約とデモ

大倉氏は、「業務中（水戸支社常磐線大野駅勤務）に被災し、福島第一原発の放射能漏れ事故の影響で、避難所生活を強いられることとなった。また避難所を幾度も変更され、これまで自宅に一度しか帰ることが出来ないでいる。このような状態になったのも原発のため。反対運動をしてきたつもりであったが、不十分であった。今後も反原発の運動と責任追及を闘っていく」と決意を込めた報告を行なった。

集会は大沼委員長の団結願望をうけて締められ、参加者は隊列を組み仙台駅前ま



雨の中、整然とデモ行進を行う。嬉しい飛び入り参加もあった

お知らせ

第12回国労東日本本軟式野球大会
期日 5月17日（木）～18日（金）
会場 大井ふ頭中央海浜公園野球場

飛び入り大歓迎！

またデモの隊列には飛び入りで二人の若者が参加。

東日本が回答

新賃金と夏季手当

国労東日本本部は、3月19日JR東日本から2012年度新賃金と夏季手当について回答を受けた。

内容は、①ベア・ゼロ、定期昇給のみ②夏季手当2・55ヶ月、6月28日支払い③JR東日本旅行券（社員用）一人5万5千円相当配布、6月以降準備でき次第。利用資格は社員と家族、有効期限なし。④グリーンスタッフの精勤手当（口頭回答）として、24年度中に雇用

退職のお知らせ

2月29日付

佐々木 幸壽さん
仙石線駅連合
TSS高城町駅

早坂 喜久雄さん
新庄連合

加成 三男さん
仙総車体

退職

長い間お疲れ様でした

お詫び

国労仙台2621号（速報版）において、猶野喬氏の氏名が誤っておりまして、関係者の皆様には心よりお詫び申し上げます。【編集部】